

## 2020 年度事業報告

### I 一般事項

#### 1 会員の動向

年度当初 145 名であった会員数は 2 名の異動があり、2021 年 3 月末現在で 145 名である。

	2020 年 4 月 1 日	入会	退会	2020 年 1 月 31 日	増・減(△)
特別会員	34	0	1	33	△1
通常会員	111	1	0	112	1
合計	145	0	1	145	0

#### 2 通常総会

2020 年 5 月 1 日～5 月 22 日にかけて書面により開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

(1) 期日までに到着した書面表決数 : 123 通

(2) 結果

議案	承認する	承認しない
第 1 号議案: 2019 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について	123	0
第 2 号議案: 会費の額について	122	1
第 3 号議案: 役員報酬額について	123	0

(3) 報告事項

2019 年度事業報告について

2020 年度事業計画及び収支予算について

#### 3 理事会

(1) 第 1 回理事会

2020 年 4 月 24 日～4 月 30 日にかけて書面により開催し、理事 12 名(理事総数 12 名)の承認、および監事 2 名(監事総数 2 名)の意見なしにより、次の議案について原案どおり可決・承認された。

議案

第 1 号議案 2019 年度事業報告及び収支決算の承認について

第 2 号議案 2020 年度通常総会議案について

第 3 号議案 入・退会者の承認について

(2) 第 2 回理事会

2021 年 2 月 19 日、理事 12 名の出席のもと、ホテル WBF グランデ旭川マルウンホールにおいて開催し、次の事項について原案どおり可決・承認された。

報告事項

2020 年度事業計画の執行状況について

2020 年度収支予算の執行状況について

## 協議事項

第1号議案 入・退会者の承認について

第2号議案 2021年度事業計画及び収支予算の決定について

第3号議案 2020年度会員企業支援事業の選定について

## その他

2021年度総会・第1回理事会・第2回理事会について

役員の改選について

講演会について

臨時職員の雇用について

## 4 監査

2021年4月6日、監事による2020年度監査が行われた。

## II 事業実施状況

### 1 林産技術普及事業

#### (1) 木材利用に関する相談事業

事業体や一般市民からの道産材を利用した住宅建設、内装材及び木材の利用に関する相談に応えるとともに、研究機関や取扱事業体を紹介した。

#### (2) イベントの開催

##### ア 講演会の開催

総会記念講演会は中止とした。

##### イ 「木になるフェスティバル」事業

新型コロナウイルス感染防止の観点から林産試験場を会場とする事業は中止され、林産試験場のウェブサイトで開催されたWeb版「木になるフェスティバル」に協力した。

開催期日：9月15日（火）～10月15日（木）

参加者数：113名

協会の参加内容：クイズ2問の作成

問題1：木の年輪のはばについて正しいのはどれでしょう？

問題2：ドングリがなる木は、どれ？

##### ウ 「森林・建築セミナー」事業

主催者（北海道森林建築セミナー実行委員会）の意向により、中止された。

#### (3) 会誌、図書の発行事業

会誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を月刊発行(800～811号)し、会員および関係執筆者に配布した。

会誌及び木材乾燥等の技術資料を試験機関、大学、事業体の方へ頒布した。

木と暮らしの情報館に展示しているクラフト(22団体)の紹介パンフレット(「展示クラフトの紹介 2020年度版(B5サイズ23頁)」を作成し、来館者に配布した。

#### (4) ホームページの活用

ホームページでイベントや講習会開催等の情報提供を行った。

ウッディエイジ記事のホームページ公開を開始した。

## 2 その他事業

### (1) 展示品維持管理事業

林産試験場から「木と暮らしの情報館」に係る「展示品維持管理業務」を受託した。

### (2) きのこ栽培試験管理事業

林産試験場から「きのこ栽培試験管理業務」を受託した。

### (3) 講習事業

#### ア 木材乾燥講習会

(公社)日本木材加工技術協会北海道支部と共催した。

開催日 2020年10月1日(木)～2日(金) 2日間

会場 林産試験場講堂

受講者 6名

### (4) 連携事業

令和2年度建築・住宅セミナー（主催：(地独)北海道立総合研究機構ほか、2021年2月9日）を後援した。

地域材の利用拡大を目的とした「上川地域水平連携協議会」の事務局として活動した。

### (5) 会員企業支援事業

林産試験場に対する依頼試験、設備使用等を実施した会員に、所用経費の1/2を助成した。